



錦町議会だより

はる



2025. NO

151

寒さに耐える

桃のつぼみ

目次

- 第4回定例会 2
- 一般質問一覧 3・4
- 9人が一般質問 5～13
- 研修報告 14～17
- 農業団体との意見交換会 18～19
- 議会のごき／議長全国大会／軌跡 20

令和6年 錦町議会

第4回

定例会

補正予算(一般会計) 1億3,990万6千円 を可決

町道改良工事、木上小学校グラウンド排水対策工事、災害復旧関連予算など

令和6年第4回定例会は、12月10日から13日までの4日間の日程で行われ、令和6年度一般会計補正予算の専決処分1件、令和6年度各会計補正予算5件、条例改正等7件、人事案件2件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。その他、陳情1件が上程され、厚生文教経済常任委員会（高田委員長）に付託した結果、採択とした。なお、今回の一般質問には、9人が登壇し、執行部の考えを質した。

条例改正等

① 錦町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院及び熊本県人事委員会の勧告に準じ、改正するもの

② 錦町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

内閣府令により、小規模保育事業所における保育士等の配置基準が見直されたため、改めるもの

③ 熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について

④ 人吉球磨広域行政組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について

契約・その他

① 大王原公園仮設団地改修工事請負変更契約について

契約金額

変更前 97,900,000円
変更後 102,564,163円

契約の相手方

人吉市城本町1088番地
株式会社 速永工務店

② 林道志戸内線第1・2号箇所災害復旧工事請負変更契約について

契約金額

変更前 72,600,000円
変更後 63,796,564円

契約の相手方

錦町大字一武2192番地33
株式会社 興陽建設

③ 財産の取得について（追認）

取得の目的

教科用図書改訂に伴い教師用として小学校で使用するため
取得した財産
小学校教師用図書・指導書

取得金額 21,138,614円

契約日 令和6年3月25日

契約の相手方
人吉市五日町5番地

清藤書店

地方自治法並びに錦町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例で必要とされている議決を経ずに取得したため、議会の追認を求めるもの

人事案件

① 錦町教育委員会委員の任命について

住所 錦町大字西

氏名 穂積 景子 1065番地3

住所 錦町大字西

氏名 松田 晃二 259番地2

陳情採択

① 農業委員会への女性登用に関する要請書

敷地北側からの撮影（玄関側）



敷地南側からの撮影（庭側）



大王原仮設団地の状況（R6.11.21 ドローンによる撮影）

令和6年第4回錦町議会定例会一般質問一覧①

議員名	質問事項	質問の要旨
早田議員 (P 5)	下水道受益者負担金制度について	①下水道の整備状況について。 ②受益者負担金はどのような費用なのか。 ③支払い義務者は。 ④納付の方法は。 ⑤下水道を使用しない場合の負担金は。 (浄化槽を使い続ける場合等)
	年収の壁による、税収入減少の影響について	①税収入減収の予測金額は。 ②住民サービスの低下が予測されるが。 ③減収補填の要望は。
	学童保育委託金について	①本町において、一般的な学童保育の利用時間と個人負担の利用金額。 ②委託金の内容と支給の時期は。 ③委託金は他自治体と同等か。 ④委託金の前払いは可能か。
石松議員 (P 6)	農業の振興について	①錦町の現状について。 ②担い手の減少をどのように捉え、対策を講じていくのか。 ③地方創生10年の取り組みと成果。 ④農業への取り組みは。 ⑤今後の農業への交付金活用について。 ⑥所得向上に向けた企業との連携。 ⑦次世代につなぐ担い手の確保と育成は。 (ミシマサイコの産地維持に向けた取り組みは)
	帯状疱疹について	①帯状疱疹ワクチンに対して、町の考えと認識について。 ②帯状疱疹ワクチン助成の考えは。
吉田議員 (P 7)	農業振興、ミシマサイコ栽培支援について	①ミシマサイコ栽培にどのような支援が考えられるか。(ハーベスター、資材等補助の考えは) ②ミシマサイコ含む製品を返礼品に検討できないか。
	子どもたちの可能性を引き出す取り組み	①子どもたちにスケートボード練習場の提供の考えは。(子ども議会でも要望と聞く)
	鳥獣害対策と地域住民を守る取り組みについて	①町内全域及び球磨川流域鳥獣害対策。 ②施工後の南部農道法面、モルタル吹付の予定は。 再質問(令和5年3月議会質問) ③住民・子どもたちが集う場所に避雷針設置の考えは。
池田議員 (P 8)	中村第二踏切事故発生後の対策について	①踏切の拡幅計画の考えはないか。 ②拡幅が無理な時の対策は。

令和6年第4回錦町議会定例会一般質問一覧②

議員名	質問事項	質問の要旨
岡田議員 (P 9)	西地区グラウンドゴルフ場のトイレの現状について	①西地区の区長から連名で要望書が出されている。町としての対応は。 ②元々、大王原公園で行っていたグラウンドゴルフだが、周辺環境が大きく変化した。高齢者支援・応援の立場からも早急な対応を。
	鳥獣害対策の現状とこれからの取り組みについて	①今、全国で鳥獣害が問題となっている。町としての対応と課題は。 ②高齢化などにより農家数が減少している。耕作放棄地が増加するのではと危惧している。町としての考えは。
	公共交通機関の現在の状況と取り組みについて	①現在、町から出している補助額は。 ②バス、鉄道会社が集客に努力するのは当たり前だが、町としての利活用案はどのように考えているのか。
梶原議員 (P 10)	人事評価による人材育成について	①現行人事評価の内容は。(評価期間、評価項目、評価者、評価方法、評価結果の反映方法) ②年度としての業務期間と評価期間が合っていないが、業績評価の目標管理はどうしているのか。 ③人事評価制度の導入目的である人材育成につながっているか。 ④職員が目的意識を持って取り組むことが期待できるキャリアパス制度を参考にした人事評価の検討を。
金山議員 (P 11)	小・中学校の制服指定について	①小学校の制服指定はできないか。 ②中学校制服の検討状況について。
	職員提案制度の設置について	①事務事業の改善等に関する職員提案の状況と取扱いについて。 ②職員提案制度を設置し、職員の意識改革や能力向上を推奨し、事務事業の改善等や住民サービスの向上を図ってはどうか。
	ふるさと錦寄附金について	①ふるさと錦寄附金の状況について。 ②返礼品開発の状況について。
谷口議員 (P 12)	球磨大橋の建設状況と今後のスケジュールについて	①現在の状況と、これからのスケジュールは。 ②県道33号との接続部分の安全対策は。
	木上、町道荒田覚井線の小学校通学路の安全性確保について	①パイプガードやプラスチックポールの設置の検討は。 ②町道高原線の歩道の整備は。
荒川議員 (P 13)	「老いても生き生きと暮らせる町」へ人材の発掘と活用への質疑・提言	①本町の高齢化率動態と少子化動態(出生率と小学生児童数)の担当分析は。 ②本町出身者へのコンタクト状況。(県人会等) ③成人式(二十歳を祝う会)同様に還暦同窓会にも町として関われないか。 ④平成24年12月定例会質疑応答を振り返って。(同様な主旨で質疑している)
	全国町村議会議長会の決議より	①錦町の議員報酬は平成8年度より下がっている。議員報酬改善のため特別職報酬等審議会招集諮問を。



わさだ かずひこ 議員
早田 和彦



熊本県球磨川上流浄化センター

一般質問

今回は9人が登壇（要約掲載）
町政のここが聞きたい！

下水道整備で資産価値が上がる

河川の水質環境への影響を減らすためにも下水道接続を

早田 下水道受益者分担金とはどのような費用なのか。

地域整備課 道路など、不特定多数

が利益を受ける場合には、その建設費は全て公費で賄うことになるが、下水道のように特定の限られた人のみが利用し利益を受ける場合、利益を受ける方々に建設費の一部を負担していただくことは、税負担の公平という観点から適当であるので、受益者分担金を賦課している。また、税の公平性のほかに、下水道整備によって特定の地域の環境が改善され、未整備地区に比べて利便性、快適性が向上し、当該地域の土地の資

産価値が上がることも理由にある。

早田 受益者分担金の支払い義務者は、通常は土地所有者、面積に関わるが。

地域整備課 本町では、排水区域内にある建物等の所有者を受益者として条例に定めている。

早田 ほかの自治体は、土地の広さに応じて負担が変わる。本町の建物所有者が受益者であるならば金銭的負担も軽くなる。ここは非常に評価したい。今後とも重要な施設になるので、接続推進をお願いしたい。

年収の壁による、本町の税収減少の予測金額は

早田 熊本県においては、税収入減少の大体の試算がされているが。

町長 現在、引上げ幅が争点となっているが、まだまだ分からない。分からずに議論は出来ないで、今後は答弁を控えていただきたい。ただ、従来の住民税がマイナスイメージは、従来は、既存の住民サービスが出来なくなることから、減収補填の要望を国に対し強く要望していく。今後は政府の動向を注視していきたい。

児童が安心して過ごせる生活の場、働く保護者をサポートする学童保育事業

早田 学童保育事業は、町の子育て支援策の一つ。この前、学童を訪問させていただいた。指導される先生方に関しては、非常に厳しいと感じた。そこで、学童保育の委託金と支給時期について伺いたい。

住民福祉課 放課後児童クラブの費用負担割合は、公費、利用者負担がそれぞれ5割という基準がある。委託金の支払時期は、毎年4月に支払いをしている。

早田 年1回の支給については、運営資金の谷間があると聞いている。概算払いであれば、運営資金の谷間が解消できると思うが。

住民福祉課 契約に基づき概算払いは可能である。

早田 是非、この概算払いをやっていただきたい。運転資金の谷間が無いよう安心、安全な学童にお願いしたい。

農業の振興は

いしまつ まゆこ 議員
石松 まゆ子 議員

石松 2020年の農林業センサス調査では20年前と比べて農業者は40%減、農業者年齢65歳以上が65.7%。農業者の減少と共に高齢化が進んでいる。農業は生きていくために必要な食物を作り出す重要な産業である。地域農業の持続的発展を図るためには、担い手の確保や育成が重要と考える。対策は。

農林振興課 農業次世代人材投資事業や農業担い手支援給付事業を進め、定着のためのサポート体制を強

化する。また、親元就農だけでなく、就農希望者と経営移譲者をマッチングして第三者継承を行うため、経営継承事業を商工業者など含め企画観光課と連携して進める。

石松 地方創生の取り組みが始まって10年、成果は。

企画観光課 人吉海軍航空基地資料館の整備、小中学校のタブレット整備、学校給食の補助、全世帯の商品券、物価高騰対策等幅広い分野で157事業を交付金で活用。また、交付金活用配分については各課と連携して取り組んだ。

石松 農林振興課の答弁の中で農業支援としてスマート農業の推進やJ-Aくま茶工場の再編、畜産農家をはじめ全農家に活用して、15事業を取

り組んだとされているが、今回、国は地方経済、生活環境創生交付金を倍増して前倒しで地方創生を取り組むとされている。今後の農業への交付金活用は。

町長 一般財源では対応できないような、より効果的な支援内容を事前にしっかりと検討してすぐ対応できるように準備をしていく。

石松 農産物の産地化が図れないかとミシマサイコを導入され、高収益



ツムラ本社での研修にて

作物としてツムラと連携して進められている。今回研修して見えてきた点として、農地維持に向け根洗浄機等の機械の補助や支援の考えは。

町長 機械でできるものは導入して使用していくことが重要。部会の方と調整し、しっかり対応していく。

帯状疱疹ワクチン補助について

石松 高齢者の間で深刻な問題となっている帯状疱疹は予防策としてワクチン接種が有効とされているが、自己負担が高額である。多くの自治体が助成をしているが町として助成の考えは。

健康増進課 2025年4月より国は高齢者を対象にインフルエンザやコロナワクチンと同様に定期接種化する方向で進めている。正式な定期接種を待つて助成については検討する。

可能性を最大限に

新たな商品開発

吉田 ミシマサイコ栽培支援、ビーンハーベスター（収穫機）他資材等の支援・補助の考えはないか。

農林振興課 自走式掘り取り機導入の要望がある。国・県の動向を見ながら、機械導入及び資材補助等の有効的な支援を検討していく。

吉田 根洗い場を錦町内にできないかと要望があり、現在JAに提案している。葉草部会からご相談してくださいと話している。町としてできる限りの支援を願いたい。また、株



よしだ しんじ 議員
吉田 眞二

式会社ツムラ製品、のど飴等をふるさと納税返礼品に検討できないか。

企画観光課 あらゆる特産品等を積極的に返礼品に当用している。ミシマサイコを含む製品が地場産品基準を満たすのであれば生産者や事業者の希望に応じて前向きに検討したい。

子供たちの可能性を引き出すために

吉田 子供たちに、スケートボード練習場の提供の考えはないか。

教育振興課 整備計画自体はないが状況等を注視した上でどのような対応が可能か検討する。

吉田 町内には色々なスポーツクラブがあり、指導者がおられる。スケートボードを得意とする指導者を、地域おこし協力隊員として募集（スケートボードをやるなら錦町）すれば転入者が増え、オリンピック選手が誕生するかもしれないので、検討を。

町長 子供たちの可能性、町が補佐できる部分もある検討していきたい。

鳥獣害行動調査で被害軽減を

吉田 町内全域及び球磨川流域鳥獣害対策の考えは。

農林振興課 球磨川流域、特に地域に絞った対策は行っていない。地形地面の状況で困難な場合もある設置場所に適した対応をしている。

吉田 球磨川両岸は良い農地が広がる、本年は特に水稻に被害が多いと聞く。人的被害が両岸の堤防、町道で起こらない対策と、球磨川に住み着いていると聞く。そこで活動範囲時間帯を調査、確認する考えは。

施隊の方々と協議したい。

吉田 どのような動きをするのか、何処を寝床としているのか、駆除に役立つかと考える調査をお願いしたい。それと、施工後の南部農道法面、モルタル吹付の考えについて（再質問）

農林振興課 防草対策にもなり、モルタル吹付が望ましいが、財源の関係もありしばらくは状況を静観したい。

町長 メンテナンスが掛からないやり方をしっかり検討していきたい。



鳥獣の住処になっている？

中村第二踏切事故発生後の対策について



池田 秀晴 議員



拡幅をと、願う踏切！！

踏切の拡幅の考えはないか

池田 先日11月10日午後6時半頃、列車と普通自動車の衝突事故が発生しました。今から30年以上も前にも地元の親子の事故が発生し、お母さんが亡くなられた悲しい事故でした。その時はまだ国鉄の管轄ではなかったでしょうか。あれ以来、大小に関わらず事故が発生しているので、踏切の拡幅はできないか。

地域整備課 幸いにも人的被害はなく安堵しているが、過去何度も事故が発生していることを考慮しますと、事故が発生しない対策は必要であると認識している。本踏切は、一種全自動踏切ではありますが、道路幅より幅員が狭い構造となっており、現在二輪自動車、農耕用車両、

軽自動車以外の自動車が通行禁止となるB規制の踏切道となっている。本踏切の拡幅については、地元からの要望も上がっており、必要性は十分に感じてはいるが、町道の道路改良工事など、後に控えている事業が残っているので、まずはそちらを優先し、活用できる補助事業についても調査しながら検討していきたいと思っている。

拡幅が無理なときは閉鎖することができないか

池田 西村駅から木上駅まで走ってみたが、中村第二踏切だけ縁石が10cmで一番低いので、30・40cmに嵩上げすることが可能であるか、くま川鉄道に確認したら可能かどうかの話でした。

地域整備課 縁石の嵩上げについては、要望等があれば可能な旨、くま

川鉄道から伺っている。嵩上げについても普段利用される農家の方々の意見を伺いながら検討していきたい。当面の対策として、通行止めの標識が色あせて見えないので、新調したいところで、公安委員会の方に要望したい。

町長 今の担当に聞きますと、農道でもない、町道でもない、里道と言いますか、そのような感じなので、地元と行政と協議しながら進めていくと。一番大事なのは命ですので、そこはしっかり守っていく、そして地元の方も遠回りになるかもしれないが、危ないところは通らないと、そのくらいの気持ちであってほしいと思っている。

公共トイレの必要性について

岡田 現在、(株)三和エレクトロニクス南側空地部分を西地区グランドゴルフ場として使用しているが、仮設トイレのため、段差があり、高齢者には使いづらいとの声がある。区長から連名で公共トイレの設置の要望書が出されているが、町としての対応は。

岡田 このグランドゴルフ場は使用する人数も多く、現状の仮設トイレでは使用しにくいいため、グランドゴルフに行きたいが行けないとの声を聞いた。元々、大王原公園を使用していたが、周辺環境が大きく変化した。町長の考えは。

総務課 隣接する民間企業のトイレの共同利用の協議や新設する際の見積徴収、財源また維持管理の方法等を検討したが、方針が定まらなかったため、回答はできていない。

町長 球磨村の方々の避難住宅として、県が作った住宅を町が譲り受け、60戸の町営住宅として現在整備中である。グランドゴルフをされる方々

が現在、三和エレクトロニクスのほうでプレーを楽しんでおられるというところで、今回のトイレ建設の要望に対して、しっかりと対応していく。

今、全国で鳥獣害が問題となっている

岡田 町としての鳥獣害対策は。

農林振興課 来年度から、猟期内のイノシシ捕獲分についても、補助対象として取り扱う方向で進める。実施隊の現状として、銃の免許保有者が25名で、ワナの免許保有者が36名。平均年齢は63歳であり、人材確保、育成のため、免許取得の受講料の補助やセミナーを開催し、免許更新に係る費用の補助を行う計画である。

岡田 鳥獣害は農家だけの問題ではない。猫に関心がある人、ジビエや、角や皮の加工、地域の環境、生態系、食育を通じた命の学習など、いろいろなネットワークが必要だと考える。

公共交通機関の現状は

岡田 現在、町が出している補助額
は？

総務課 バス運行対策に3千37万円、乗り合いタクシー運行対策として3百53万円、くま川鉄道の経常損失、施設整備、災害復旧に9千413万円である。バスと乗り合いタクシーには、8割が特別交付税措置されるが、鉄道にはほぼ無い。

岡田 鉄道を利用する高校生も年々減少している。人が乗らない鉄道にお金を使うより、学校の遠足や、シニアの方々の行事に鉄道を使ってもいい、その行事に補助した方が良く考える。そのためには、他の市町村との連携が必要であり、地域住民の理解と応援が必要だと考える。



おかだ たけし 議員
岡田 武志



現状の仮設トイレ

人事評価による人材育成について

かじわら せいじ 議員
梶原 誠二

梶原 現行の人事評価の内容は。

総務課 評価期間は10月から翌年9

月で、業務遂行の個人能力を評価する能力評価と、組織としての業務目標を評価する業務評価があり、評価期間後の12月賞与、1月昇給、6月賞与に反映している。

梶原 本町の人事評価実施規程に、

「公正な評価を行い、もってこれを職員的能力開発及び人材育成に活用し、適正な人事管理を図る。」とあ

るように、人事評価は人材育成と密接な関係があると思う。人事評価がうまく機能しないと不満の温床になることもあり、職場の活性化を図ることが逆に職場の成長の足を引っ張ってしまうこともあると思う。人事評価の中で、どのような取組みが人材育成につながっていると考えるか。

総務課 職員一人一人が自分の業務

と達成具合を意識するようになり、仕事に対する向上心につながっている。また、評価面談によるコミュニケーション強化も人材育成につながっている。

梶原 一人一人の職員の成長が職場

全体の成長につながる人材育成は、職員が目的意識を持って業務に取組

むことが重要である。それが期待できるキャリアパス制度を参考にした人事評価の検討を提言したい。キャリアパスとは、目標とする役職や立場などに到達するために必要なスキルや経験などを示した道筋のことであり、民間事業者では、組織の生産性向上のため、職員の成長や定着率を高めることを目的として導入されている。人材育成が強化されているキャリアパス要素を取り込んだ取組みについての考えを聞きたい。

総務課 キャリアパスシート例を見

てみると、どのようなスキルを身に付けて成果を出していけばいいのかが分かり易く、評価の仕組みが透明化される面などから、評価の妥当性につながるかと感じた。いい部分を少しずつでも取り入れて、現行人事評価をより良い制度にしたい。

梶原 キャリアパスによって職員一

一人の強みや弱みを把握することで、成長を促すきっかけになり、評価面談やフィードバック面談を通じて、組織内の意識の共有化や組織力向上も期待できると思う。

町長 現行人事評価の最終評価は、

職員がいかに住民サービスに徹しているかである。今後、民間の制度も含めて、より良いものを取り入れ最高の住民サービスに寄与できるような人事評価にしていきたい。



キャリアアップ

小学校の制服指定はできないか

金山 入学及び卒業式に出席し高額

と思われる服装を目の当たりにしてきている。制服については長短あるが、同じ服装で学ぶことに意義あるものと考えてるが、指定できないか。

教育振興課 校長会で長短を検討し

た結果、どちらとも言えない状況であった。今後、保護者から要望があった場合は協議検討を考えている。

金山 中学校では制服の見直しを検討中であるが、状況は。

教育振興課 生徒、小5年生及び保

護者アンケートの結果、賛成、現状



かなやま たみゆき
金山 民幸 議員

の他様々な意見等があった。今後協議検討が行われる。

金山 教育長の制服指定についての所見を。

教育長 制服を着用することの意味

は、児童生徒の一体感や帰属意識等スクールアイデンティティーの醸成に有効であることは勿論だが、成長期、思春期の子どもの達の学びの場、家庭の経済状況を持ち込まないという役割はとても大きいと思ってい



見直し中の錦中制服

る。ただ、身体的成長の著しい小学校の段階では買い替える経済的負担等々の検討をしなければならないと思う。

職員提案制度の措置を

金山 事務事業の改善等に関する職員提案の状況と取り扱いは。

総務課 人事及び提案等に関する

身上調書を町長に提出し、検討事項指示により実施している。又、新規事業や課題等については、プロジェクトチームにより検討し提案をしている。

金山 更に住民サービス向上を図る

ために、人事に関する以外の提案等についての制度化を行い、優れた提案や顕著な功績の表彰等の規定を設け奨励してはどうか。

総務課 職員提案の制度予定化は無

い。現行の取扱いを継続し、提案し易い職場環境づくりに努める。

金山 町長の職員提案化への所

見を。

町長 日頃、職員に対して如何にして住民サービスを提供するかと指示している。そのためには常に勉強し考えることが重要だと思っている。今後も常にオープンにしながら進めていく考えである。

ふるさと錦寄付金の状況は

金山 ふるさと錦寄付金は人口減少対策の貴重な財源となっているが、状況は。

企画観光課 前年同月比9.9%の約3千万円で厳しい状況である。引き続き寄付金獲得に取り組んで行く。

金山 寄付金増収に繋がる返礼品開発の状況は。

企画観光課 現在、返礼品数は468品であるが、今後5品の商品化を進めていく。

球磨大橋復旧工事の状況と県道 接続部分の歩道改修は



谷口 一也 議員

谷口 令和4年9月に被災した球磨大橋。沢山の方の御尽力のおかげで仮設が建ち、工事が進められている。現在の用地の取得と進行状況、大体どれくらいに橋が完成するのか。

地域整備課 橋梁本体については、国が権限代行で、復旧工事については発注済みで現在施工中。県が行う取付け道路については、用地測量それから用地交渉及び建物の調査を進めており、工事については来年度以降となっている。



歩道に建つ標識

谷口 県道の木上コミセン前の歩道に道路標識、信号機の柱が立っている。町の障がい福祉計画7期、障がい児福祉計画3期の計画が提示されたが計画の骨格となるものが地域共生社会の実現。しかしこの歩道は車

椅子で通れない。球磨大橋の道路工事の機会に歩道の解決を是非、県のほうに要望していただきたい。

地域整備課 交差点改良事業の中で

移設、或いは位置の変更等を考えるとなっているが、商店前の案内標識については今回計画の終点部で歩道幅員については現況と変わらず、案内標識の位置も変更はないが、車椅子も通れないということであれば県のほうへ要望をしていきたい。

**木上明覚寺線、高原線の
安全性確認は**

谷口 町道明覚寺線の小学校の通学路の安全性確保について、住民の方には車の出入りでガードパイプがあるとならない部分があるが、ラバーポールを取り付けられないか。

地域整備課 町道明覚寺線については、道路に沿って水路があり、高さは、

が高いところで約90センチ、平均して50センチと低いために、柵が設置されていない。有効幅員が3メートル未満と狭い。ラバーポールであれば影響が少ないと考えられるが、住民の方の意見を聞きながら、検討していきたい。

谷口 町道高原線で水道工事があった部分がひどく道路が窪んでいる。昨年相談に伺った時に、歩道の設置計画があり、それに合わせて問題を考えたいと回答があったが。

地域整備課 町道高原線については、計画として、現在、開渠となっている水路に蓋を設置して、歩行者が歩けるスペースを確保することとし、あわせて歩車道境界にはラバーポールを設置して区分けする。舗装については、今のところ予定はしていないが、予算もあるので、次年度継続してする場合に舗装のほうも考えていきたい。

錦町出身者は全国にいる

荒川 錦町出身者へのコンタクト状況、例えば県人会等。

材や焼酎でのおもてなしを行った。

企画観光課 令和4年7月には、町

荒川 錦町出身の方で、色んな分野

外の方を対象としたふるさと住民票制度を開始し、東京県人会の協力もあり、現在のふるさと住民登録者数は156名で、そのうち本町出身者は34名。令和5年7月には熊本にしき会を開催。10月には東京にしき会、令和6年10月には本町初となる大阪にしき会を開催し、錦町産の食

で活躍してこられた方、今も活躍していられっしゃる方が、多くいらっしゃる。その方々と深くコンタクトを取っていくためには、そういう県人会で、ただ「焼酎よかですよ」だけでなく、錦町の現在状況やふるさと心を何かくすぐるものなど例えば、映像とか流したり等そういった工夫は。

企画観光課 現在の状況等は発信しているが、映像等は流していない。

荒川 還暦を過ぎ、ふるさとに帰ろうかと思う人がいるかもしれない。そういった方々のキャリア、人脈な

どが、町の発展につながるかもしれない。

還暦を祝う会、考えてみては？

荒川 二十歳を祝う会（成人式）を

どこでも盛大に主催しているが、そういう大規模ではなく、錦町を出て今は違う所に住んでいる方々がせっかく集まってくる還暦会に町としても関わる。例えば還暦同総会での費用を一部補助するなどして、その代わり本町のふるさと納税などアピールする。帰ってきませんかとアピールする。経験もある。人脈もある。企業誘致につながるかもしれない。錦町出身者に対して、しっかりとコンタクトを取っていくというのは大事なことだと思うが。

町長 しっかりと検討していきたい。

荒川 二十歳の集い（成人式）出席者は、今後に期待して。還暦会出席者は、ある程度、地位、金銭的余裕もある。その方々にしっかりと錦町をアピールし、ふるさと納税で応援してもらおう。これが本当のふるさと納税だと思う。



あらかわ こういち 議員



盛りあがる！ふるさと祭り

県関係国会議員への要望活動及び産業行政視察研修

10月15日～17日（参加議員：11名 丸小野議員は、体調不良のため不参加）



ひたちなか海浜鉄道株式会社本社（10/16）



株式会社ツムラ本社（10/15）

東京・茨城研修報告

谷口 一也

▼ツムラ

人吉球磨の産地に対して面積拡大の希望など、会社として考えておられる事が知れて良かった。9月の定例議会で質問したように、農作物関連の企業との結びつきは農家にとっても経営安定などメリットがあることであり、他の企業の人吉球磨への進出が進めばと願っている。薬草という分野であり、他の農作物と違って国県の支援内容も違うと思うが、町におかれても対応をお願いしたいと思う。

▼ひたちなか鉄道株式会社

一つの市の中を走り、接続される他の鉄道など、くま川鉄道とは環境が大きく異なっているが、鉄道会社を支援するサポーターの制度や地域との関係性など参考になった。財政面で通信ケーブルの敷地料は大きく、列車のボディーへの広告料など羨ましい。その鉄道の置かれている環境をしっかり把握することが黒字化への道だと再認識した。

東京・茨城研修報告

梶原 誠二

▼株式会社ツムラについて

16日の見学地であるツムラ漢方記念館は、茨城工場の敷地内にあつて、「漢方・生薬を 学ぶ・知る・楽しむ」をコンセプトに開館された2階建ての施設で、1階は、日本独自の医学である漢方医学の歴史や、医療用漢方製剤と原料生薬の見本が展示されていた。2階には、原料生薬見本の形・色・匂い等を体験できるコーナー、原料生薬栽培・調達・加工・保管等のツムラ独自の厳格な品質管理体制の展示があった。特にツムラが力を注いでいるのが、原料生薬の品質管理ということだった。「漢方の品質は畑から」のポリシーのもと、ツムラ独自の品質管理基準により、植え付け、栽培、農薬及び肥料の使用、収穫等を取り決められ、生産農家の安定収入や持続的な経営につなげられている。医療用漢方製剤市場1,875億円の約84%のシェアを持つツムラとの契約栽培は、厳しい品質管理基準もあるが、球磨地域においては、あさぎり薬草合同会社を基盤とする組織体制で取り組まれており、高齢化による生産者数の減少はあっているが、栽培技術の向上等により栽培面積は維持されている。今後の生産農家の持続的な経営と新規生産者確保のために、作業機械導入支援、栽培農家のPR支援等の取組の必要性もあると思う。

▼ひたちなか海浜鉄道について

16日午後の見学地である那珂湊駅は、ひたちなか海浜鉄道の本社及び機関区機能を有する中核駅であった。ひたちなか市内だけを走る第三セクターで運営されている鉄道で、延長14.3km、11駅を約28分で結ぶ運行をされている。令和5年度の決算では、輸送人員約116万人、単年度収支△713万円が報告されている。この鉄道の活性化には、沿線地域住民組織である「おらが湊鉄道応援団」によるマイレール意識の醸成、利用促進に関する活動が大きく貢献している。各駅の清掃や草花の植栽、除草作業等も強制的でなく、沿線住民の自主性で行われている。沿線地域住民の意識づくりも重要な取組である。また、車両についても国内現役最古級のディーゼルカーが走っており、鉄道マニアから注目される取組も活性化の一つでもあると思う。

東京・茨城研修報告

早田 和彦

10月15日から17日までの3日間、県選出国会議員への要望及び(株)ツムラへ視察研修に行つてまいりました。

国会では、突然の衆議院解散があり参議院議員馬場先生との面会要望となりましたが、本町の現状と今後の町政課題を議会として要望をお伝えしてまいりました。

さて、今回の研修では、球磨郡でも栽培が盛んな、ミシマサイコを受け入れている、バスクリンで御馴染みの(株)ツムラが、研修先として快く受けていただきました。

(株)ツムラは、「自然と健康を科学する」を基本理念とし、創業1893年、漢方・生薬製剤の製造販売を手がける老舗の製薬会社であります。その漢方薬の原料の一つがミシマサイコのことです。

医療現場では、漢方薬を処方される医師も増えてきているのが現状との事。今後、医療現場では漢方薬の処方が増えていくと予想される為、サイコの製造を自治体上げて支援をお願いしたいとの話でありました。

サイコ栽培も含め、農業への支援策等は重大な課題と考えます。厳しい状況が続きますが町政発展の為に対策を講じてまいります。

視察研修を生かす

吉田 眞二

突然の衆議院解散、国会議員要望は参議院で対応いただいた松村参議院秘書・馬場参議院議員へ子育て支援・給食費の無償化・保育料の無償化の要望書を提出、馬場参議院から精一杯努力するとの言葉をいただき現在議論され安堵しています。また、農機具の補助を要望、熊本県の国会議員は農業に精通しており、土地改良の進藤・宮崎参議員も頑張っておられることをお伝えし、取り組んでいくとの力強い言葉をいただき議員会館を後にしました。今回の企業視察の一つで、茨城県のひたちなか海浜鉄道(株)、社長さん自らご説明をいただき、鉄道の延伸も計画され沿線に企業・観光地がある地の利を痛感しました。車両の更新をお尋ねしたところ、2両が新品で、他の車両は譲り受けたもの、そこが良いんです鉄道マニアが来られます、くま川鉄道の沿線は田畑が広がる、うちも田園の中を走る鉄道をピーアールしている、夏目友人帳大好きです、頑張ってくださいと励まされた研修であった。

東京・茨城研修報告

石松 まゆ子

令和6年10月15日～17日の3日間、国会議員への要望活動及び視察研修に参加して来ました。

県関係国会議員には、15日が衆院選が公示のため、参議の松村、馬場両参議院議員に対応していただいて、子育て支援として、国全体での、給食の無償化や保育料の無償化の要望書を提出。又錦町の過疎地域指定の問題、農産物の価格転換や物価高騰対策の対応など、自治体が抱える問題を要望することが出来ました。

視察研修では1日目(株)ツムラ本社。2日目に茨城県にあるツムラ漢方記念館を球磨郡のミシマサイコの生産者と一緒に研修をすることができ、生産者が抱える問題を伝えた。また、漢方製薬を学びながらミシマサイコの将来性について話を聞くことが出来ました。会社としては生産拡大を望まれており契約栽培の拡大を進めるのも所得確保に向け企業との連携も必要だと感じました。

2日目震災もコロナも克服し市民共同で持続し好調な営業をされている茨城県の(第三セクター)ひたちなか海浜鉄道(株)を視察。上下分離方式について、好調な営業成績について話を聞くことが出来ました。

国、県が動くだけでなく、地域との連携と協働など官民一体での取り組みが必要と感じました。3日間大変勉強になった研修でした。

東京・茨城研修報告

竹田 農利人

研修地(株)ツムラ本社と茨城県阿見町にある茨城工場と敷地内のツムラ漢方記念館を視察した。郡内にてミシマサイコを栽培、錦町22名の生産者、あさぎり薬草合同会社を通じ(株)ツムラとの契約栽培である。ツムラは創業130年を迎え、漢方薬の原料は医療用漢方製剤と生薬116種類あり中国を中心に栽培、日本ではミシマサイコ他数種類薬草栽培、北海道・秋田・高知等ある。郡内で栽培しているサイコは生産量全体の約半分を栽培、今後生産量増大が期待されている。郡内栽培者より、ハーベスタ購入に当たり補助の要望があり錦町だけでなく市町村で協議、補助出来るよう願う。

ひたちなか海浜鉄道は市内だけを走る第三セクター、行政市民一体で地域との連携、応援団は沿線自治会により清掃、除草作業の協力、応援団情報の編集と発行により、市民の理解を得る。沿線高校とも連携により学生たちのイベント協力、市民全体にて応援活動がなされている。

東京・茨城研修報告

岡田 武志

▼株式会社ツムラ

茨城県にあるツムラ漢方記念館(工場)を視察したが、ほとんどが医学関係の人達が主であるとの話だった。敷地も5万4千坪あり、大きな工場であった。129処方の漢方製剤(うち軟膏製剤1つ)を作っており、84.2%のシェアを持っている。当日は、あさぎり薬草合同会社の人達と一緒に視察を行ったが、意見交換ができ、大変有意義であったと思う。漢方製剤の原料は、日本国内で10%、中国80%、ラオス10%で、球磨人吉で栽培しているミシマサイコの種子は中国での栽培用であると聞いた。アンケートでは国内で栽培を増してほしいと要望した。

▼ひたちなか海浜鉄道

第三セクターによる勝田～阿字ヶ浦間(14.3km合計11駅)を28分で結び、1日34往復(約40分間隔)で朝5時から深夜24時まで運行している。くま川鉄道と比べると、9町村ではなく、ひたちなか市だけなので、地域住民の応援や認識にばらつきがなく、行政、住民、一体となって運営されていると感じた。くま川鉄道も、必要性、将来性を地域住民と行政が一体となつての運行計画が必要であると思った。

東京・茨城研修報告

池田 秀晴

▼ツムラ本社

錦町における柴胡生産者は微減傾向であるが、2024年度は生産者22名で、全体の2割が本町の生産者であり栽培技術の向上、専用機器の開発・改良で栽培面積は維持しているとのこと。

▼ツムラ漢方記念館(茨城県)

未来を見据え、究極的に成し遂げようとする事業の「志」としてパーパス「一人ひとりの、生きるに、活きる」を制定した。

江戸時代の薬用具について説明があり、個人、漢方薬剤は常時服用をしていないと効果がないと思っていたが、薬剤の副作用もあることも解り、漢方医学についての考えが変わった。

▼ひたちなか海浜鉄道株式会社(茨城県)

ひたちなか海浜鉄道の現況(市民協働で震災もコロナも克服しその先(延伸)へと題して説明、茨城県ひたちなか市内だけを走る「第三セクター」勝田～阿字ヶ浦間(14.3km合計11駅)を結ぶ、運行本数1日34往復(約40分間隔)おらが湊鉄道応援団(市民)との連携、JA、JFとの連携 にぎわう駅ホーム朝市、沿線高校生との連携、他地域も巻き込んだ観光誘致施策などから初期の目的を達成して、守りから攻めへ、国営ひたちなか海浜公園への延伸(約1.4km)を目指す。我々のくま川鉄道の復旧復興への道のりも地元の皆様方との協働で、開通を目指して攻めの姿勢を掲げたいと考える。

東京・茨城研修報告

金山 民幸

▼ツムラ本社・漢方記念会館視察研修

漢方薬の原材料としての薬用植物等は数多くあるが、特にミシマ柴胡（サイコ）は様々な漢方薬に配合されている。栽培に関して収益率は高いが医薬品の原材料であるので厳しい条件等が課せられているということであった。

人吉・球磨地域でも栽培拡大の事業展開をされている。栽培者及び栽培技術指導者確保等の課題もあるが、会社、栽培関係者及び行政が連携を図り薬草栽培の発展に繋げることができればと感じた。

▼ひたちなか海浜鉄道視察研修

乗客者数や運行本数等始め沿線には小・中・高校及び企業や旧水戸藩史跡観光地が存在し、又、国営ひたち海浜公園までの延伸計画とＪＲ常磐線へ接続している等くま川鉄道を取り巻く環境と差があった。

乗客者増加対策については両鉄道共通の課題であり、特に、くま川鉄道は今後通学生の減少により厳しい運営が予想されるので、会社とくま川鉄道管理機構（市町村）及び地域（団体）と連携して一層の鉄道利用者増加対策を推進すべきと考える。

東京・茨城研修報告

高田 孝徳

ツムラ漢方記念館において、漢方医学の概論、歴史について説明を受けた。漢方医学については、自分自身も芍薬甘草湯68番を毎日飲んでいたので他の薬草のことも説明を受けある程度ではあるが理解することができた。又、漢方薬の種類の多さ、効能の力に驚かされた。

ツムラは、球磨人吉地区において薬草ミシマサイコの栽培を優先的に推奨している。反当りの収入も安定しており、高収入も可能である。ツムラとしては、まだまだ需要はあるとのことだった。そこで、球磨人吉もミシマサイコの作付面積の増加、農家の件数増がよいのではないかと。

又、今後薬草の種類が多数あるので、球磨人吉の風土に合った薬草栽培に取り組むのもよいのではないかと。そして、近い将来この球磨人吉が日本中で薬草の聖地と呼ばれる様になればいいと思う。

最後に、先進地視察に行かせてもらい、つくづく百聞は一見にしかずを実感したところである。

研修活動

▼ツムラ本社、ツムラ研究所（工場）

東京本社にて来訪に合わせ事前に集計してあった「錦町ミシマサイコ生産者アンケート」を元に栽培状況とこれからの人吉球磨の経済波及効果等、意見交換を行い、翌日、茨城県阿見町に所在する広大な（東京ドーム4個分）工場を併設する漢方記念館にて、くま薬草生産組合の役員の方々と同席し、生薬倉庫、製造工程を見学し漢方の歴史そして現在のツムラ漢方製品現状等研修させてもらった。「温故知新」を基に将来性を感じ得た。

▼ひたちなか海浜鉄道株式会社

25年度の全線再開が予定されている「くま川鉄道」。その際導入される「上下分離方式」と「地域との一体化」を研修するために訪問した。経営陣から現況と地域住民との連携、活性化施策と順追って説明いただいた。定期利用者（主に通学だけでなく定期外利用者をいかに増すかを課題に地域団体（自治体・学校）とユニークなアイデアを取り込み連携することの重要性を学んだ。

要望書提出

9月、与党総裁選そして衆議院の改選等予想を報じるマスコミ。少しでも半年前から計画していた要望活動及び研修の日程と重ならないよう願っていたが、上京日程と衆議院選挙公示日が重なった。ようやく取り付けた研修先に迷惑は掛けられない。国への要望窓口となつていただける国会議員の方々、秘書の方々と入念に打ち合わせをし、どうにか参議院議員の馬場先生、松村先生（当人は不在）の事務所にて要望書を提出させてもらうことが出来た。今回の要望書は、①学校給食費の無償化についてと、②保育制度の拡充についての2題。共に子育て支援に関する制度の拡充・財政支援についてである。いずれも錦町では既に実施している事項ではあるが、いつまでも自治体単独で負担を続けることは、将来の財政運営を圧迫する恐れがある。又、急速な少子化が進む中、少子化対策の抜本強化として国に財政措置を含め、あらゆる支援措置を求めるよう要望した。

農業団体との意見交換会

錦町議会と農業団体との意見交換会を令和6年12月16日、役場3階大会議室で開催しました。

町内団体との意見交換会は、町民に開かれた議会を実現し、より良い町作りにつなげようと平成24年から取り組みをしており、これまでに商工会や農業委員会、PTA連絡協議会と意見を交わしてきました。

今回、農業団体との意見交換会は初めての試みで、農家から現状や課題等を直接聞くこと、日程や団体・部会等を調整し開催が実現いたしました。

参加頂いた団体・部会は、県畜産農業協同組合球磨支部、JAくまの肥育、栗、胡瓜の3部会と青壮年部、錦果樹研究会のモモ部会、とナシ部会、中九州煙草耕作組合およびたばこ下球磨支部から12人が参加さ

れました。

各団体と部会の代表者から現状と課題についての発言は以下のとおりです。

熊本県畜産農業協同組合 球磨支部

○年々農家数が減少している。

○球磨家畜市場子牛価格が令和3年までは高値（70万円）で販売出来ていたが令和4年から下がり令和6年上半年期では47・8万円まで下っている。

○飼料のキロ単価も値上がりが続け、高止まりしている。補填金も交付されない。

○子牛価格に対し費用経費が上がっており赤字経営状況にある。このままでは、生活基盤が崩れて、農業全体のバランスが崩壊するおそれがあることを危惧している。

JA球磨肥育部会

○後継者不足。

○配合飼料が高騰している。子牛を安く購入しなければ、採算が取れない。

○成牛を100万円以下で販売したら肥育は赤字。

錦果樹研究会 栗部会

○山つきにあるので、害獣（イノシシ・鹿）被害に遭う。

○錦町にもネット（300円/m）の補助があるのは知っているが、高齢者は特に張れないのでそういった支援も必要。

○猟友会で活動しているが、狩猟免許を持った人がいないので増やして欲しい。

○鳥獣害の報奨金をあげて欲しい。

○山江栗も球磨栗の一つ。郡市一つで何かできないか。

○去年は、干ばつであった。灌水しなくても水源がない。灌水も検討

して欲しい。

○栗、モモ、ナシの農薬散布の支援を。

胡瓜部会

○ハウス栽培で11月も暑い状況であった。熱対策として、遮熱材を試したが高額。生産基盤パワーアップ事業が国の事業にのらないため、遮熱材の支援を検討願いたい。

錦果樹研究会 ナシ部会

○資材が上って、利益が薄くなってきた印象を受ける。

○高温障害やカメムシの大量発生により、単価が高くても数量が取れないので利益は上がっていない。

○山つきは鳥の被害が多いので協力願いたい。

○毎年、事業は変わっていくと思うが、HP上で簡単に検索できないか。

J A 青壮年部

○若手が少ない。新規就農者がいれば情報提供を。

○食育に力を入れている。町からも苗代や肥料代の半分を補助してもらっているが、西小学校も加わって人数が多いため、青壮年部の活動資金がギリギリの状態。盟友の人数も減っていくと食育活動が出来なくなる可能性もあるので、町としても補助の検討を。

○除草作業する方も高齢化している。堤防に階段を作って欲しい。

中球磨煙草耕作組合・たばこ下球磨支部

○資材・燃料高騰対策。

○後継者が厳しい中、錦は後継者が育っている。後継者がやりやすい農業を。機械の支援等

○道の駅に喫煙所を。JTからの補助活用。

○人材不足。

○遊水地問題は、絶対反対をして頂きたい。

その他の意見

○年2回程度の意見交換の場を設けて欲しい。

○若手の後継者グループと意見交換会を。

○事前に質問書を作って欲しかった。

このように、行政に対して農業の未来を見据えた意見、要望等が相次ぎました。

特に、人材不足や資材等の高騰、鳥獣対策、農地保全、補助制度の充実など厳しい現状は、どの部会も共通しており、議会としても要望内容を精査し、執行部に繋いでまいります。



今後も、町内団体との意見交換会を計画してまいります。と、同時に各団体からも募集しています。



議会のうごき

10月

- 1日 全員協議会
- 8日 広報特別委員会
- 9日 熊本県町村議会議員研修会
(オンライン)
- 10日 定例郡議長会
例月出納検査 (・11日)
- 15日 県関係国会議員への要望活動及び
産業行政視察研修 (～17日)
- 18日 広報特別委員会
- 22日 町村監査委員全国研修会 (～24日)
- 23日 広報特別委員会
- 28日 定期監査 (・31日)

11月

- 1日 全員協議会
定期監査
- 5日 財政援助団体等監査
- 6日 町村議会広報研修会
人吉下球磨消防組合議会消防庁舎建設に関する
特別委員会

- 8日 定例郡議長会
- 13日 議長全国大会及び産業行政視察研修 (～15日)
- 20日 例月出納検査 (～21日)
- 21日 備品監査
- 25日 人吉下球磨消防組合議会定例会
- 29日 人吉球磨広域行政組合議会定例会

12月

- 3日 議会運営委員会
全員協議会
- 10日 令和6年第4回定例会 (～13日)
- 16日 農業団体等との意見交換会
- 18日 例月出納検査 (～19日)
- 21日 国道219号整備改良促進期成同盟会総決起大会
- 22日 分館対抗駅伝大会
- 25日 人吉球磨広域行政組合議会定例会
- 26日 郡議長・副議長合同会議

研修報告

町村議会議長全国大会と滋賀県研修

11月13日に東京NHKホールで町村議会議長全国大会が開催され参加してきました。少子化対策の推進及び東京一極集中の是正を求める特別決議を始め令和7年度国の予算編成及び施策に関する要望等採択。又、夜は県関係国会議員への要望(町村財政の強化・熊本県における交通網の整備促進に関する要望等)と意見交換会に出席してきました。翌日は滋賀県彦根市に向い、令和6年4月から上下分離方式で運営を開始した近江鉄道の移行までの経緯及び現在の状況について研修を行いました。これは「くま川鉄道」の復旧と鉄道再開後の運営について参考とする目的である。

この「近江鉄道」も「くま川鉄道」と同様、実際の沿線市町村と沿線が走っていない町村間での協議会(公有民営化)に「事前協議が進まなかったが、15回程協議を重ね合意に至り、現在は通勤通学の利用状況が全体の約2/3、定期外(旅行者、イベントパス等)が1/3と順調に増やしているとのことでした。

地域の協力が必要であると感じた研修でした。

文責 荒川 孝一



軌跡

日本の四季は…

昨年の夏は殊の外暑さが厳しく、果たして寒くなるのだろうかと半信半疑で過ごした残暑が、懐かしく思える程の寒い日が続いている。ホッとすると春ののどかさ、実りの秋はアツという間に過ぎ去ってゆく様になってしまった。日本の四季はいつだってどこへいつってしまったのだろうか。四季はこのままでは二季になってしまいう。怖い。怖ろしくなってしまう。

錦町の基幹産業である農業にとって、これまで私達が当たり前だと考えていた季節の移り変わり様は、多大な影響を与えている。昨年の果物・野菜等の出来高は、前年度より随分落ちた様で、経済的に厳しいものがある。農家が厳しければ商売にも悪影響を及ぼす。経済が回らなければ、町全体が苦しくなっていく。ともかくにも悪循環を起こしてしまう。

錦町だけでなく、日本全国、世界各地で同じ問題に直面している状況である。私達人間が、資源を使い利便性を求めた結果、大きなツケが回ってきたのだらう。今こそ環境の変化と真摯に向き合い真面目に考えなければならぬ時代に入ってしまったのだらう。難しい問題は学者に任せ、着実にできることを一歩一歩進め、町のあちこちで笑顔の花が咲く錦に願いを込めたい。

(文責 高田 孝徳)

【広報特別委員会】

委員長 早田 和彦
副委員長 丸小野聖一

委員 石松まゆ子
高田 孝徳
吉田 眞二
議長 荒川 孝一